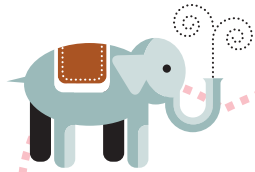
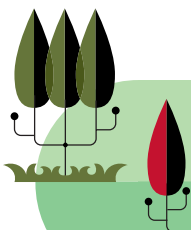


1 春のおつかい — ものがたり①



絵でわかる



つぎの文は、どの絵に合うかな。

- ① 春をとどけてあげたいな。
- ② 小川の水をとどけたかったのに。
- ③ すみれをとどけたかったのに。
- ④ 春の空気をいっぱいにつめこんだよ。

答え

- ① 1
- ② 3
- ③ 2
- ④ 4



②の絵は・子りすが

- ・春のはじめ
- ・山のふもとから、山の上のこやへ
- ・すみれの花をとどけようとしている。

①の絵は・子りすが

- ・冬
- ・こやのまどの外から
- ・おじいさんがひぎをさす
- ・るのを見ている。

＜だいたいな考え方＞

- ものがたりを 読むときは、四つのもとを たしかめながら 読むよ。
- 「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「どこで……」「いるところ」「何をした……」したことや 思ったこと
- 「だれが……出てくる人や どうぶつ」「いつ……きせつや 日にちや 時間」「どこで……」
- 「何が……」「何を」「何をした……」

＜これだけは覚えよう＞

これでわかった





1

まぜやってみよう



春のおつかい

ものがたり①

答えは1ページ

1 つぎの文しよを 読んで、あとの もんだいに 答えましよう。

春のおつかい

春のおつかい

春のおつかい

山の ふもとは、もう なんとなく 春らしく なって いました。

でも、山の 上の すみやきの おじいさんの こやにまで は、まだ 春は 来て いません。おじいさんは、さむい いたむ ひぎを さすりながら、 「春が 来れば この 足も よく なるだろうに。」 と、ひとりごとを 言いました。

まどの 外で、一ぴきの 子りすが これを きいて いました。 この 子りすは、ゆきで たべものが 見つけれない 冬の あいだ、おじいさんから まめや かつおぶしの かけら を もらって、元気にくらしました。

(1) 右の 文しよの きせつは いつごろでしようか。よいものに ○をつけましよう。

- ① () 春から 夏にかわる ころ
 - ② () 夏から 秋にかわる ころ
 - ③ () 秋から 冬にかわる ころ
 - ④ () 冬から 春にかわる ころ
- (2) おじいさんの すんで いる ばしよは どこで しようか。よいものに ○をつけましよう。

- ① () 町の中
- ② () 山の上
- ③ () 海のちかく

2

つぎの 文しよを 読んで、あとの もんだいに 答えましよう。

「おじいさんが あんなに まって いる 春が、早く 来れば いいのに。……そうだ！」
いい ことを 思いついて 子りすは いそいで 山を おりて いきました。

ふもとに 来て みると、ほんとうに 春めいて いました。
「春の しるしは ないかな? あっ、すみれ!」

(1) ㊸ 「春めいて いました」と ありますが、どう いう いみでしようか。よい ものに ○をつけ ましよ。

- ① () 春が なかなか こないと いう いみ。
- ② () 春らしく なって いたと いう いみ。
- ③ () 春が すぎて しまったと いう いみ。

(2) ㊸ 「春の しるし」と ありますが、右の 文しよ で、子りすが 見つけた 「春の しるし」は 何で しようか。





1

もじりちどせつてみよう



春のおつかい

ものがたり①

答えは1ページ

① つぎの 文しよを 読んで、あとの もんだいに 答えましよう。

子りすは、かけよって そっと つもと、たいせつに 口に くわえて、山の こやへ むかって いそぎました。

「春の おつかい、春の おつかい。」

子りすは うれしくて たまりません。

こやの ちかくまで 来て ふと 見ると、すみれは しお

れて、もう きれいでは ありませんでした。

しばらく かんがえて いた 子りすは、くるりと うしろ

を むいて、また 元気に 山を おりて いきました。

ふもとへ つきました。

「もっと いい 春の しるしは ないかしら。」

そして、子りすは、木の かわに、ほんの すこし 春の

小川の 水を くみました。

「春の おつかい、春の おつかい。」

子りすは、心の 中で、くりかえしながら、ちようしよく

山を のぼって いきました。

でも、まだ あまり のぼらない うちに、

「あ、あれ？ なくなっちゃってる！」

小川の 水は、木の かわに しみこんで しまったのでした。

子りすは、 かおを しましたが、思い直して ま

た 山を おりて いきました。

(1) ㊦ 「山の こやへ むかって いそぎました」と

ありますが、何を するために しようか。よいもの に ○ を つけましよう。れんしゅう1の 文しよ も 読んで 答えましよう。

① () 春の 小川の 水を、山の上からながす ため。

② () 春のおつかいがおわったので、じぶん のすにもどる ため。

③ () おじいさんに すみれをとどけて よろ こんでもらう ため。

(2) ㊦ 「春の しるし」とありますが、上の 文しよ うで、子りすが 見つけた 「春の しるし」は 何で しようか。

(3) に あてはまる ことばを つぎから え

- ① () うれしい
- ② () かなしい
- ③ () いきいきとした





1

たしかめてみよう



春のおつかい

ものがたり①

答えは1ページ

1 つぎの文しよを 読んで、あとの もんだいに 答えましよう。

ふもとへ 来た 子りすは、まんまるい 目を きよろきよろさせて、よくよく 春の けしきを ながめました。小さな はなを ぴよこぴよこさせて、春の かおりを かぎました。それから、春の 空気を むねいっばいに すいこみました。ふわふわした ちやいろの毛の 中にも、いっばい 春の を 入れました。

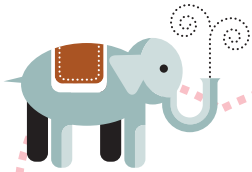


「春の おつかい！」
こやの まどから いきなり とびこんだ ふわふわの ちやいろい まりは、いたむ ひざを さすって いた おじいさんの ひざの 中に ぽんと とびこむと、うれしそくに おじいさんを見 上げました。
「おお、おお、おまえは あたたかいのう。春の におい するよ。」
子りすは、うれしくて じっと して いられずに、また 外に とび出して きました。
春は、もう すぐ そこまで 来て います。

- (1) にあてはまる ことばを つぎから えらび、○を つけましよう。
- ① () 小川の水 ② () 空気
③ () 土
- (2) ① 「春のおつかい」とありますが、どうい ういみでしようか。よいものに ○を つけましよう。
- ① () 「春」にたのまれて、町へ かいもの に行くこと。
② () 春をまつ おじいさんに、春の しるし をとどけること。
- (3) ① 「うれしくて じっと して いられずに」とありますが、どうして うれしいのでしようか。よいものに ○を つけましよう。
- ① () 小川の水をおじいさんに とどけること ができるから。
② () 大すきな おじいさんによる こんでもら えたから。
③ () すみれの 花が きれいに さいて いたから。



1 かたかなで書くことば



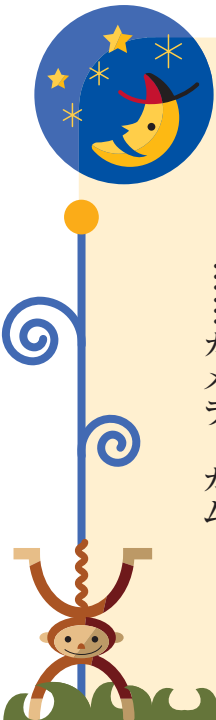
つぎのせつめいにあてはまる絵はどれかな。

- ① どうぶつの鳴き声
- ② 外国の国の名前や人の名前
- ③ いろいろな音
- ④ 外国から来たもの

答え
① 3
② 1
③ 4
④ 2

Labels in the grid include: ジェーン, マイケル, イギリス, ロシア, アメリカ, オランダ, インド, フランス, ブラジル, アフリカ, ワンワン, カーカー, ヒヒーン, モー, ニャー, ガオー, ゴーン, ポンポコ, テレビ, パイナップル, プップー, プロロロ, ガム, フォーク, カメラ, ツウルルル, ピンポン, ソフトクリーム, パン, パンパカパーン.

絵でわかる



- ・外国から来たもの
……カメラ、ガム
- ・外国の国の名前や人の名前
……イギリス、マイケル
- ・外国の動物の鳴き声
……モーモー、ヒヒーン
- ・外国の音
……ポンポコ、ゴーン

＜だいたいな考え方＞

- かたかなで書くことばをなかに分けてみよう。
- 音をあらわすことば
……ポンポコ、ゴーン
- 鳴き声をあらわすことば
……モーモー、ヒヒーン
- 外国の国の名前や人の名前
……イギリス、マイケル
- 外国から来たもの
……カメラ、ガム
- かたかなの書き方にはきまりがあるよ。
- にごる音には、ひらがなと同じように「、」や「。」をつけるよ。
- テレビ、プリン
……
- 小さく書く字もひらがなと同じように書くよ。
- バット、コップ、ジャム
……
- チョコレート、ボール
……
- のぼすことばは「ー」で書くよ。

＜これだけは覚えよう＞

これでわかった



1

まずやってみよう



かたかなで書くことば

答えは1ページ



1

——を引いたひらがなをかたかなに直しましよう。

(1) さつかあのをしあいをてれびで見ろ。



(2) ぼおるぺんのきやつぶをなくした。



(3) 父はじえつときのぱいろつとです。



2

つぎの文にはかたかなのまちがいが一つずつあります。まちがった字を○でかこみ、正しいことばを()に書きましよう。

(1) コップにオレンジヂュースをそそぐ。

()



(2) リヤックサックにバナナとサンドイッチを入れた。

()



(3) シヤツのポケットからチュコレートがおちた。

()





1

もっいちどやってみよう



かたかなで書くことば

答えは1ページ

① つぎのことばのなかまをあとからえらび、かたかなに直して書きましょう。

(1) おんがく



(2) じどうしゃ



(3) たべもの



(4) ふね



〔たぐしい・よつと・ちよこれえと・ぴあの〕

② 上の絵を見て、□にあてはまることばをかたかなで書きましょう。

(1) どうぶつの鳴き声



チ
ユ

②



ケ
コ
コ

(2) ものの音



ピ
ユ

②



ジ
ー
ヤ





1

たしかめてみよう



かたかなで書くことば

答えは1ページ

1

つぎの () に、あてはまることばを、あとの
□ から えらんで 書きましよう。

- (4) ()
- (3) ()
- (2) 犬
- (1) がつき

こんちゅう・ブルドッグ・じどう車
バイオリン・バス

()
()
タクシー
トラック

()
()
かぶとむし
チョウ
とんぼ

()
()
シエパード
ダックスフント


()
()
ギター
ピアノ



2

①〜⑦の □ にあてはまることばを、下から
えらんで 書きましよう。


④ □


さかな
魚

⑤


こい
□

のりもの


じどう車

①


□
ダンプカー

⑥ 

□

⑦

□
つばめ


ヨット

②

□

③

ヨット
□

とり 鳥・バス・ふね・たい・どうぶつ・ポート・にわとり

